



肌リフト®  
— STEP —



第71期 第2四半期  
株主通信

2018年4月1日 ▶ 2018年9月30日

たるみを引き上げてくれる肌リフト。

# To Our Shareholders and Investors

株主・投資家の皆さまへ



株式会社ワコールホールディングス

代表取締役社長 **安原弘展**

この夏、大きな自然災害が相次ぎ、日本各地に甚大な被害をもたらしました。お亡くなりになられた方々に哀悼の意を表します。また被災された方々にお見舞い申し上げるとともに、1日も早い復旧を祈念申し上げます。

当社は、現在の中期経営計画の最終年度となる当期において、事業効率を高めるための基盤整備の完了や、成長が期待できる領域への投資に取り組んでいます。

「国内事業」では、卸売事業の生産性を高めるための組織再編、継続的な小売事業の収益性改善に取り組み、売上利益率をはじめ、収益力向上の成果が出始めました。また、独自のオムニチャネルサービスの実現に向けた準備も進んでおり、来春にはテクノロジーの革新を活かした次世代型ショップの開設を予定しています。

「海外事業」では、自社ECの利便性向上、他社ECでの商品・販売政策の見直しを進めた結果、欧米と中国の主要3法人のEC売上は力強い伸びを示しました。今後も効果的な投資を実施することによって、成長力の強化に努めます。

他方、持続可能な発展を目指して、社会的な要求に対して、取引先と協働しながら一層の責任を果たす取り組みを高めております。人権や労働慣行などのデューデリジェンスを行い、是正・改善につなげるCSR調達の仕組みを確立し、5月には趣旨に賛同いただいた製造委託先の工場の名称・所在地などを当社ホームページで公開しました。

8月末にはスポーツウェアを手掛ける株式会社デザートと包括的業務提携契約を締結しました。お互いの事業基盤を有効活用し、ファッションとスポーツの垣根を越えた新しい価値を創造することで、より一層、お客さまに支持される商品やサービスの開発を目指します。

株主・投資家の皆さまには、今後とも一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2018年12月

## ご寄付についての報告

ワコールグループは乳がん早期発見・早期診断・早期治療を推進する「ピンクリボン活動」を支援しており、その一環として、公益財団法人日本対がん協会「ほほえみ基金」へ寄付を行っております。

2005年からは株主さまにもご参加いただける支援活動として、ご優待としてお送りした商品券「ワコールエッセンスチェック」をご寄付としてご送付いただいております。

株主さまからお寄せいただいた2018年度中間期のご寄付は次のとおりです。

※ワコールでは、株主さまからお寄せいただいた上記のご寄付に、同額を上乗せし（マッチングギフト方式）、日本対がん協会に寄付しております。

寄付先	株主さまからのご寄付件数および金額	
公益財団法人 日本対がん協会 「ほほえみ基金」	2018年4月～2018年9月末	
	333件	801,500円

ご賛同いただきました株主の皆さまには、心より感謝を申し上げます。

# Summary of Consolidated Results

## 連結業績の概況

### 当第2四半期の業績概況

当第2四半期連結累計期間(2018年4月1日～2018年9月30日)における連結売上高は、前年同期並みとなりました。国内事業は、主力の卸売事業で百貨店や量販店の夏場における店頭販売額が落ち込んだ結果、減収となりました。海外事業は、中国の販売が好調で、邦貨換算後の売上高が前年同期に比べ16%増加したことがけん引し、増収となりました。ピーチ・ジョン事業は減収、その他事業は前年同期を上回りました。

連結営業利益は、前年同期に比べ5%減少しましたが、計画を上回ることができました。国内事業は、組織体制の改編等によって事業効率の改善が進んでおり、売上利益率の改善と販管費の削減を果たしました。しかしながら、前年同期に計上した子会社の工場用地退去に伴う補償金収入による一時的な増益の裏返しもあり、

前年同期を下回る結果となりました。海外事業は、増収に伴って増益となりました。ピーチ・ジョン事業・その他事業は事業効率の低下により、ともに減益となりました。

連結税引前四半期純利益は、会計方針の変更に伴い、持分証券の評価益56億60百万円を計上したことから、前年同期比48%の増加となりました。

売上高	1,018億15百万円	(前年同期比 0.2%減)
営業利益	89億94百万円	(前年同期比 5.4%減)
税引前四半期純利益	163億11百万円	(前年同期比 48.2%増)
当社株主に帰属する四半期純利益	113億91百万円	(前年同期比 53.2%増)

#### 当第2四半期連結累計期間の主要な為替換算レート

■ 1米ドル	= 110.26円	■ 1中国元	= 17.09円
■ 1英ポンド	= 146.91円		

### 通期の連結業績予想および配当の状況

通期の連結業績予想につきましては、2018年5月15日に公表した数値から変更はありません。また、持分証券の評価損益による変動影響は、連結業績予想には織り込んでおりません。

売上高	営業利益	税引前当期純利益	当社株主に帰属する当期純利益	配当金
2,000億円 (前年比 2.2%増)	100億円 (前年比 20.2%減)	130億円 (前年比 9.0%減)	100億円 (前年比 2.6%増)	1株当たり 中間配当金 36円(※) 期末配当金 36円(予想)

(※)中間配当金(基準日:2018年9月30日)は2018年12月4日よりお支払いいたします。

詳しくは当社ホームページより 「2019年3月期 第2四半期連結決算短信」をご覧ください。

URL

[https://www.wacoalholdings.jp/ir/financial\\_results.html](https://www.wacoalholdings.jp/ir/financial_results.html)

# Operating Results

## 営業の概況

### オペレーティング・セグメントの営業概況

#### ワコール事業 (国内)

売上高 **585億 85百万円** 前年同期比 3.0%減  
営業利益 **49億 64百万円** 前年同期比 5.3%減

株式会社ワコールでは、卸売事業の連携強化と生産性の向上をねらいに、従前のワコールブランド事業本部、チェーンストア事業本部、ウエルネス事業部を、当期から「卸売事業本部」に再編し、小売事業者向けの営業を一元化しています。

卸売事業本部の売上高は、前年同期に比べ4%の減少となりました。台風等の自然災害や酷暑の影響のほか、百貨店での高級ラインの販売苦戦、量販店での夏場の売上低迷による在庫調整などが影響する結果となりました。なお、ブラジャーの店頭販売額については、「ワコール」ブランドは自社ECの伸びが寄与したこともあり前年同期並み、「ウイング」ブランドは夏の主力商品が不調に終わったことから前年同期に比べ3%の減少となり、両ブランドの合計で1%下回りました。

小売事業本部の売上高は、前年同期比1%の増加となりました。直営店を横断展開するブラジャー「BRAGENIC (ブラジェニック)」は好調を維持し倍増したものの、セール販売の規模縮小や自然災害による営業日数の減少などが影響しました。

このほか、株式会社Ai (アイ) の売上高は、若年層の需要減少、低価格帯の新規メーカー参入による競争激化といった水着市場の変化を受けて、最需要期の第2四半期に大きく苦戦を強いられた結果、前年同期に比べ22%の減少となりました。

以上の結果などから、当該セグメントの売上高は前年同期に比べ3%の減少となりました。

営業利益は、前年同期に比べ5%の減少となりました。卸売事業、小売事業ともに経営効率を高める取り組みを進め、株式会社ワコールは売上利益率の改善と営業利益率の向上によって増益となりましたが、前年同期に子会社工場用地の退去に伴う補償金収入を計上した一時的な増益影響があったことから、前年同期を上回るに至りませんでした。

#### ワコール事業 (海外)

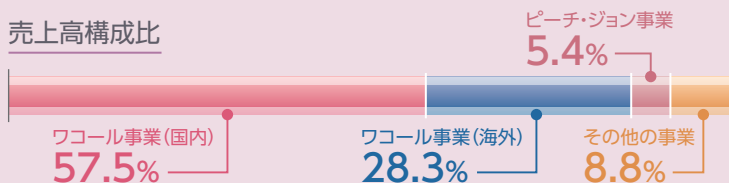
売上高 **288億 21百万円** 前年同期比 3.9%増  
営業利益 **38億 41百万円** 前年同期比 7.6%増

ワコールインターナショナル (米国) の現地通貨ベースの売上高は、前年同期に比べ2%減少しました。EC販売は9%増加しましたが、百貨店 (実店舗) の店頭販売額が8%減少しました。加えて、一部百貨店の経営破たんによる閉店や前年同期に取り扱い百貨店の店舗数の増加に伴う初回納品の上乗せがあったことの影響が影響しました。

現地通貨ベースの営業利益は、販管費を抑制しましたが、減収に伴い前年同期に比べ9%の減少となりました。

ワコールヨーロッパの現地通貨ベース (英ポンド) の売上高は、前年同期に比べ2%の増加となりました。主軸の英国・米国では、百貨店と他社ECが

### 売上高構成比



順調で、それぞれ8%、4%増加しました。豊満体型女性向けブランド「elomi (エロミ)」は下着・水着合わせて20%増加となり、引き続き、全体をけん引しました。

現地通貨ベースの営業利益は、増収効果に加えて、セール販売の縮小や英国での希望小売価格の見直しなどによる売上利益率改善が寄与し、前年同期に比べ27%の増加となりました。

中国ワコールの現地通貨ベースの売上高は、前年同期に比べ11%増加しました。春節、婦人節などの需要期の販促強化が奏功し購買客数が増加した結果、百貨店の店頭販売額は4%の増加となりました。また他社ECを通じた売上高は、同じく需要期の販売プロモーションが好調だったことなどから54%伸長しました。

現地通貨ベースの営業利益は、EC売上と「ワコール」ブランド売上の比率が高まったことで売上利益率が改善し、前年同期に比べ51%の増加となりました。

これらの結果、邦貨換算後の当該セグメントの売上高、営業利益は、ともに前年同期を上回りました。

#### ピーチ・ジョン事業

売上高 **54億 70百万円** 前年同期比 1.6%減  
営業利益 **1億 82百万円** 前年同期比 53.8%減

ブローガートとの取り組み強化などによって認知拡大が進んだ台湾が前年同期に比べ45%増となった一方で、国内は通販事業がSNS広告の強化から1%の増加に転じたものの、引き続き、店舗事業が苦戦した結果、当該セグメントの売上高は、前年同期を2%下回る結果となりました。

営業利益は、国内での減収影響に加え、中国事業の伸び率鈍化と他社EC広告費等の増加が響き、前年同期に比べ54%減少しました。

#### その他の事業

売上高 **89億 39百万円** 前年同期比 8.4%増  
営業利益 **7百万円** 前年同期比 97.7%減

ルシアン の売上高は、前年同期に比べ15%の減少となりました。主力のインナーウェア事業が大手量販店向けPBの採用品番数の縮小などにより受注が減少し前年同期を16%下回ったほか、マテリアル事業、アート・ホビー事業、アパレル事業ともに振るいませんでした。

七彩の売上高は、前年同期に比べ33%の増加となりました。第1四半期に工事を完了した大手百貨店の本店改装などによって、工事事業は前年同期に比べ49%増加し、物販事業も30%増加しました。

これらの結果から、当該セグメントの売上高は前年同期に比べ8%の増加となりました。

営業利益は、ルシアンが減収の影響から営業損失となったことに加えて、七彩が増収したものの工事事業比率の高まりから売上利益率が低下したことを受けて、98%の減少となりました。



## 新しいライフスタイルの創造を目指して ワコールとデサント 包括的業務提携契約を締結

株式会社ワコールホールディングスと株式会社デサントは、ファッション、スポーツ、健康、美容の垣根を越えたライフスタイル領域で、新しい価値を提供するための戦略的パートナーシップをスタートするべく、2018年8月30日に包括的業務提携契約を締結しました。



「美と健康と快適」を追求し、多くの女性から支持されるインナーウェアを提供し続けているワコールと、多くのアスリートとの共同開発により培ったスポーツ分野における高いノウハウを有するデサント。それぞれの経営資源を相互に活用し、事業基盤の強化・拡充・発展に努めることによって、ファッションとスポーツの事業領域を越えた新しい価値を創造し、両社の事業の拡大とグローバル化の推進を図ってまいります。

## Topics

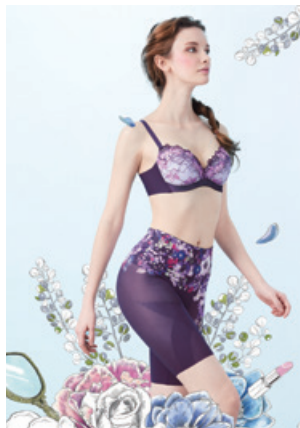
### ワコールグループの旬な話題をピックアップ いま一番注目のアイテムをご紹介します。

#### ▶ ワコールブランド

たるみを引き上げる。エクササイズ歩行に。  
『SUHADA 肌リフト STEP』

『SUHADA(スハダ) 肌リフト』は、ラクなのに、たるみを引き上げてくれるボトムで、シリーズ発売以来、累計売上63万枚を超え、好評を得ています。

新商品『SUHADA 肌リフト STEP』は、ワコール独自のクロス構造をプラス。はいて歩くことで、歩幅が広くなり、ヒップの筋肉を使いやすいエクササイズ歩行への変化が期待できます。9月オンエアのTVCMも新鮮なアプローチが支持され、店頭への誘導につながりました。



#### ▶ ウイングブランド

ノンワイヤーでラク、なのにズレにくい。  
『Date.』から『シンクロブラ』新登場

『Date. (デイト)』は、“仕事や家事に忙しい毎日を送りながらも、自分らしく日々を楽しみたい”という女性に向けて、ノンワイヤーブラを中心に発売しています。今回、より快適なつけごちとキレイなシルエットに加え、ズレにくい機能を備えた『シンクロブラ』が登場しました。

また、平野ノラさんをモデルに起用し、広告ビジュアルやWEBムービーを展開。普段の表情とは違ったナチュラルな美しさで『シンクロブラ』の魅力を表現し、大きな話題を集めました。



# Consolidated Financial Statements

## 連結財務諸表 (米国会計基準)

### 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

科目	当第2四半期末 (2018年9月30日現在)	前期末 (2018年3月31日現在)
<b>【資産の部】</b>		
流動資産	112,203	105,812
有形固定資産	53,725	54,333
その他の資産	144,058	138,389
資産合計	309,986	298,534
<b>【負債の部】</b>		
流動負債	43,193	39,632
固定負債	23,108	21,405
負債合計	66,301	61,037
<b>【資本の部】</b>		
資本金	13,260	13,260
資本剰余金	29,796	29,765
利益剰余金	206,587	172,418
その他の包括損益累計額	1,645	28,597
為替換算調整勘定	2,744	2,274
未実現有価証券評価損益	—	27,424
年金債務調整勘定	△ 1,099	△ 1,101
自己株式	△ 12,197	△ 11,328
株主資本合計	239,091	232,712
非支配持分	4,594	4,785
資本合計	243,685	237,497
負債及び資本合計	309,986	298,534

(注) 記載金額は百万円未満を四捨五入して表示しております。

### 四半期連結損益計算書

(単位: 百万円)

科目	当第2四半期(累計) (2018年4月1日から 2018年9月30日まで)	前第2四半期(累計) (2017年4月1日から 2017年9月30日まで)
売上高	101,815	101,976
営業費用	92,821	92,465
営業利益	8,994	9,511
その他の収益・費用	7,317	1,494
税引前四半期純利益	16,311	11,005
法人税等	5,185	3,973
持分法による投資損益調整前 四半期純利益	11,126	7,032
持分法による投資損益	346	429
四半期純利益	11,472	7,461
非支配持分帰属損益	△ 81	△ 24
当社株主に帰属する四半期純利益	11,391	7,437

(注) 記載金額は百万円未満を四捨五入して表示しております。

### 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

科目	当第2四半期(累計) (2018年4月1日から 2018年9月30日まで)	前第2四半期(累計) (2017年4月1日から 2017年9月30日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	7,974	8,499
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 2,703	△ 4,011
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 5,978	△ 7,300
為替変動による現金及び 現金同等物への影響額	656	156
現金及び現金同等物の 増減額	△ 51	△ 2,656
現金及び現金同等物の 期首残高	29,487	33,995
現金及び現金同等物の 四半期末残高	29,436	31,339

(注) 記載金額は百万円未満を四捨五入して表示しております。

# Stock Information

## 株式の状況 (2018年9月30日現在)

### 株式および株主数

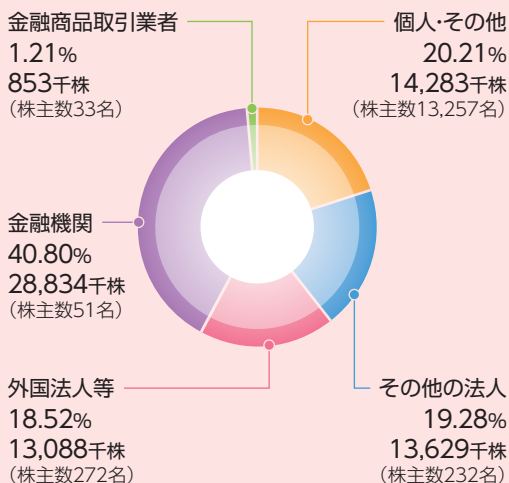
発行済株式数	70,689,042株
株主数	13,845名

### 大株主の状況(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社三菱UFJ銀行	3,295	4.97
明治安田生命保険相互会社	3,050	4.60
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,901	4.37
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,516	3.79
株式会社京都銀行	2,352	3.54
日本生命保険相互会社	1,836	2.77
株式会社滋賀銀行	1,823	2.75
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,525	2.30
第一生命保険株式会社	1,366	2.06
旭化成株式会社	1,241	1.87

(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。  
2. 持株比率は、自己株式4,410千株を控除して計算しております。

### 株式分布状況



(注) 1. 株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。  
2. 個人・その他は自己株式を含んでおります。

# Corporate Profile

## 会社概要 (2018年9月30日現在)

社名	株式会社ワコールホールディングス	
創業	1946年(昭和21年)6月15日	
設立	1949年(昭和24年)11月1日	
資本金	132億6,011万584円	
従業員数	21,066名(連結ベース)	
本社	京都市南区吉祥院中島町29番地	

### 主要グループ会社

国内連結会社		
(株)ワコール	(株)ランジェノエル	(株)トリーカ
(株)ルシアン	(株)Ai	ワコール流通(株)
(株)ピーチ・ジョン	九州ワコール製造(株)	(株)七彩
(株)ウンナナワール	北陸ワコール縫製(株)	ワコールサービス(株)
(株)ワコールミネット	新潟ワコール縫製(株)	(株)ワコールキャリアサービス

海外連結会社		
米国ワコール	ワコール(中国)時装	ベトナムワコール
ワコールインターナショナル(米国)	大連ワコール時装	フィリピンワコール
ワコールカナダ	廣東ワコール	ワコールシンガポール
ワコールドミニカーナ	ホンコンワコール	Aテックテキスタイル(タイ)
ワコールヨーロッパ(英国)	ワコールインターナショナルホンコン	Gテックマテリアル(タイ)

国内関連会社		
(株)ハウスオプローゼ		

海外関連会社		
台湾ワコール	インドネシアワコール	ワコールマレーシア
タイワコール	新栄ワコール(韓国)	

### 第71期の経営体制

#### 取締役・監査役

代表取締役会長	塚本能交	監査役	中村友紀
代表取締役社長	安原弘展	監査役	廣島清隆
取締役副社長	若林正哉	監査役(社外監査役)	白井弘
常務取締役	山口雅史	監査役(社外監査役)	浜本光浩
取締役	宮城晃	監査役(社外監査役)	島田稔
取締役(社外取締役)	黛まどか		
取締役(社外取締役)	齋藤茂		
取締役(社外取締役)	岩井恒彦		

## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日	単元株式数	100株
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日	上場証券取引所	東京証券取引所
定時株主総会	6月	証券コード	3591
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL <a href="https://www.wacoalholdings.jp/ir">https://www.wacoalholdings.jp/ir</a> (ただし、事故、その他やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。)		
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社		
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町3-6-3 ・Tel 0120-094-777 (通話料無料) ご利用時間：土日祝祭日除く平日9時00分～17時00分 ・インターネットアドレス <a href="https://www.tr.mufg.jp/daikou/">https://www.tr.mufg.jp/daikou/</a>		

## 株式に関するお手続きについて

お手続き内容	お問い合わせ窓口
<ul style="list-style-type: none"> <li>氏名・住所の変更</li> <li>単元未満株式の買取および買増請求</li> <li>配当金の振込先指定</li> <li>その他株式に関するお問い合わせ</li> </ul>	証券会社の口座で株式をご所有の株主さま お取引の証券会社
<ul style="list-style-type: none"> <li>未受領の配当金に関するお問い合わせ</li> <li>郵便物についてのお問い合わせおよび再送付のご依頼</li> </ul>	特別口座で株式をご所有の株主さま 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
<ul style="list-style-type: none"> <li>未受領の配当金に関するお問い合わせ</li> <li>郵便物についてのお問い合わせおよび再送付のご依頼</li> </ul>	すべての株主さま 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

## 株主さまご優待について

ご優待の内容	基準日	発送時期
<b>①下記通信販売の優待割引 (事前の登録手続き要)</b> ワコール通信販売カタログ『LOVE BODY』 インターネット通信販売『ワコールウェブストア』 <b>100株以上ご所有の株主さま</b> 20%OFF(※1)	3月31日	秋号 (8月下旬) より年4回送付
<b>②ワコールエッセンスチェック (ワコール商品券)</b> <b>500株以上1,500株未満をご所有の株主さま</b> 3,000円分 <b>1,500株以上ご所有の株主さま</b> 5,000円分 3年以上継続して保有(※2)していただいている株主さまに対しては、上記金額分それぞれ1,000円分を加算してお送りします。	9月30日	春号 (翌年2月) より年2回送付
	3月31日	6月末
	9月30日	12月初旬

※1 2018年7月より、割引が適用されるご購入金額の上限額(割引適用前)は、年額100万円(税込)(7月1日～翌年6月末日の累計)とさせていただきます。  
 なお、中間期で株主さまになられた場合も、適用期間は翌年6月末日までとなります。

※2 3年以上の継続保有とは直近7回のすべての基準日(9月30日および3月31日)において、同一株主番号で株主名簿に保有株式数(基準)が記載されていることをいいます。

### 配当金のお受け取りについて

配当金は口座振込でも受け取ることができます。

口座振込をご利用いただけますと、配当金の支払開始日にご指定の口座に振り込まれます。お手続きにつきましては、お取引の口座管理機関(証券会社等)にお問い合わせください。



ピンクリボン活動(乳がん早期発見)をワコールは支援しています。

株式会社ワコールホールディングス